

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじんきたりゅうしよくぶんかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人喜多流職分会		
代表者職・氏名	友枝 昭世		
制作団体所在地	〒 141-0021	最寄り駅(バス停)	目黒駅前
	東京都品川区上大崎4-6-9		
電話番号	03-3491-8813		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじんきたりゅうしよくぶんかい		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人喜多流職分会		
代表者職・氏名	友枝 昭世		
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体に同じ
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	2019年11月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表 理事友枝昭世 理事 高林皓二・香川靖嗣・塩津哲生・粟谷能夫 監事 金子敬一郎		シテ方喜多流能楽師として演能活動を行う能楽師 20歳以上 会員(能楽師)31名 準会員(能楽師)6名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	友枝 雄人
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	勝田 良子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	<a href="mailto:taketomosoleil@ybb.ne.jp">taketomosoleil@ybb.ne.jp</a>		

<p>制作団体沿革</p>	<p>【一般社団法人喜多流職分会】          令和元年11月設立          喜多流の伝承を守り伝えて流儀の興隆を図ることを目的とし設立。          一般社団法人として活動する以前は喜多流能楽師の集団として喜多流というくくりで活動。個々に受ける公演をサポートし合いながら開催。さらなる活動の場を広げるべく一般社団法人として活動を令和元年より開始。          代表理事は現在の喜多流宗家預かりで重要無形文化財保持者各個人認定(人間国宝)友枝昭世。</p> <p>一般社団法人喜多流職分会の能楽師が属する喜多流は、能楽のシテ方5流の中で他の流儀よりも幾分小規模ですが、文化勲章も受章した十四世喜多六平太はじめ人間国宝認定者を4人も輩出しています。能楽は武家の式楽として長い歴史を誇っていますが、その中で喜多流は特に武士気質が強く、素朴ながら豪放な芸風で、遠目にも力強さが感じられる芸風が特徴です。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>(直近主催公演)          令和3年度 喜多流養成会「通小町」他 令和3年度 喜多流素謡・仕舞の会「岩船」他          令和4年度 喜多流養成会「鶴之段」他 令和4年度 喜多流素謡・仕舞の会「竹生島」他          令和5年度 喜多流養成会「雷電」他</p> <p>令和元年より現在の一般社団法人化したため学校等の公演実績は文化庁文化庁令和2年度第3次補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」、令和3年度補正予算事業「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」のみとなります。</p> <p>令和3年11月11日 岩手県気仙沼郡住田町立有住小学校          令和3年11月30日 長崎県佐世保市黒髪小学校          令和3年12月6日 岩手県平泉町立中学校          令和3年12月6日 岩手県平泉町立小学校          令和3年12月8日 岩手県一関市立桜町中学校          令和4年11月28日 大田区立矢口中学校</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>現在のところ実施経験がありませんが対応可能です。学校の先生方と事前打ち合わせの上、生徒に合わせた内容にアレンジし実施いたします。          喜多流では「手話で楽しむ能狂言鑑賞会」も実施しており、今後喜多流職分会主導でも特別支援学校での公演を積極的に行っていきたいと考えております。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://youtu.be/G8RhySkULx8">https://youtu.be/G8RhySkULx8</a></p>	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p></p>
		<p>PW:</p>	<p></p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	○			
企画名	能楽入門 体験しよう！見てみよう！				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>本公演演目 能「黒塚」脚本 喜多流謡本に拠る 演出 友枝雄人</p> <p>【プログラム構成】</p> <p>第一部 演者による体験を含めた参加型の能の解説</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はじまりの挨拶</li> <li>● 「能楽とは」 能楽師による能楽についての説明及び能楽の楽しみ方のレクチャー(10分)</li> <li>● 囃子方による囃子の演奏 (5分)</li> </ul> <p>大鼓・小鼓・笛・太鼓の迫力ある演奏を体感していただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ワークショップで体験した謡の発声のおさらいと、いらたか念珠所作の演習 (5分)</li> </ul> <p>(休憩10分)</p> <p>第二部 能「黒塚」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 能「黒塚」鑑賞・謡やいらたか念珠を使用しての生徒の参加(60分)</li> <li>● 出演者による終わりの挨拶</li> </ul> <p>公演時間計80分 休憩10分</p> <p>詳細別添1-①・1-②有</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>				
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし		該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	
演目概要	<p>能「黒塚」: 諸国を巡る修行の旅を続けている山伏が宿を借りようとして訪れた一軒家。そこには老女が住んでおり、一度はあまりにみずばらしいあばら家だからと断るが山伏達の重ねての頼みに泊めてあげることになる。家の中で山伏達は見慣れない道具を見つけ女に尋ねる。すると老女は杵杵輪という糸繰りの道具であり自分のような卑しい身分の者が取り扱うものであると答える。山伏の求めに応じて糸繰りの様子を見せながら辛い浮世の業から離れられない我が身を嘆き儂い世をしみじみと語る。一行に暖を取らせるために薪を取りに出るが留守中に寝室を覗かぬように念を押し出掛けてゆく。一行はしばらくの間休むこととしたが従者が約束を破り寝室を覗いてしまう。そこには山積み死体の死体があり驚く従者。女の正体は安達原に住む鬼であった。すぐさま一行は逃げ出すが、約束を破られた鬼女は一行を追い襲いかかろうとする。山伏は呪文を唱えついに鬼女を祈りふせ、鬼女は夜の嵐に紛れて消え失せてしまいました。辺境の地に住む鬼女の伝説を題材に作られた作品だが、ただの昔話に止まらず人間の本質を考えさせられる作品となっています。</p>				
演目選択理由	<p>能「黒塚」は学生の皆様をご覧になり、自分自身を振り返るテーマを含んでいると考え選曲させていただきました。鬼と呼ばれた者が持っていた宿業の悲しさ、人生への焦燥感、公演をご覧になりそれぞれ感じ取っていただけたらと思います。</p> <p>また、作り物が舞台上にあり体育館という空間でありながら1つの作り物によりそこが安達ヶ原になる能楽の舞台様式もご覧いただけることで生徒のイメージを膨らませることのできる作品です。間狂言で登場する山伏と同行の能力が寝室を覗いて驚くシーンにはコミカルな部分も有り飽きさせない演目となっていることも選定した要素です。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>【ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「黒塚」の中で山伏が鬼を追い払うために使用する”いらたか念珠”を生徒の皆様にご覧いただきます。本公演では完成した念珠を使い舞台上で繰り広げられる鬼女と山伏の攻防に加勢していただく所作を舞台上の山伏と一緒に行っていただきます。</li> <li>◆能の発声体験 本公演で鑑賞していただく「黒塚」の劇中で謡われる”待謡”部分を能の発声方法から指導し練習します。</li> </ul> <p>【本公演】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ワークショップでの発声体験をもとに本公演の中で練習した”待謡”を能楽師と一緒に生徒全員に謡っていただきます。また制作していただいた”いらたか念珠”を使って、鬼に追われる山伏を応援する気持ちをよりいっそう高め能楽の鑑賞への集中度を高めます。</li> <li>◆ワークショップで理解していただいたストーリーを頭の中に置きながら、生徒一人一人の想像力を駆使して本各的な“能”を鑑賞していただきます。能楽堂さながらの設営をした舞台で現役能楽師による演能をご覧いただきます。本物を見ていただくことで生徒の心に響く舞台をお届けいたします。</li> </ul> <p>詳細別添1-①・1-②有</p>				
出演者	別添2メンバー表添付				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 19 名		運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 3 名			車長: 6 m	
	合計: 22 名			台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時		13時～14時30分	10分	14時半から16時	16時半
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。						
本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月		
	16日	13日	11日	6日	16日		
	11月	12月	1月	計			101日
	16日	13日	10日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						
児童・生徒の 参加可能人数	本公演			共演人数目安	150		
				鑑賞人数目安	150		



能楽の舞台設営専門会社による舞台設営をいたします。学校の体育館ではありますが、能楽堂に行ったような雰囲気を感じていただけます。

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出がわかる写真)



能「黒塚」は般若の面を使用する迫力ある演目です。ストーリー性もある演目で学生の皆様にも興味を持っていただけると考えます。

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



いらたか念珠を使い山伏と共に  
鬼の襲撃を押しえよう！

【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	150名(最大300名位まで)
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>90分～100分 所要時間は学校とご相談の上調整させていただきます。 体育館や講堂を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●はじまりの挨拶</li> <li>●能「黒塚」ストーリーの解説(15分) 本公演「黒塚」のあらすじを学年に合せ、能楽師よりわかりやすく説明いたします。 この後に制作していただく”いらたか念珠”の場面やその役割、発声体験の”待謡”についても触れさせていただきます。</li> <li>●いらたか念珠の制作(30分) いらたか念珠は山伏が持つ念珠です。このワークショップではその制作をしていただきます。人の煩惱の 数と言われる108の木製の玉を繋げて仕上げていただきます。 「黒塚」後半の鬼と山伏の戦いの場面で生徒それぞれが作ったいらたか念珠で山伏と同じ所作をし鬼の 撃退に加勢していただきます。</li> </ul> <p>【休憩10分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●能の発声練習(25分) 学生の皆様にも能楽の身体を使った発声方法を体験していただきます。山伏が謡う謡”待謡”を練習し、 本公演「黒塚」の演能の中で学生の皆様に謡っていただきます。謡っていただくのは「黒塚」の劇中で主 の老女の本性を知って山伏は恐れ鬼が迫ってくるから逃げなければという緊迫の場面の謡です。日常で は忘れられがちな日本古来の呼吸法に基づいた発声を能楽師が指導いたします。</li> <li>●能楽クイズ(10分) 能面や装束、能の動き等を能楽師がクイズ形式で出題。生徒にクイズの解答を考えながら理解を深めて いただきます。 合わせて当日の演目「黒塚」についての鑑賞の手引きになるお話しをさせていただきます。</li> <li>●終わりの挨拶</li> </ul>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>能楽の小道具作りや謡の発声体験を能楽師と一緒に体験していただくことにより、学生には難解と思われ がちな能を身近に感じていただきます。 日本の伝統文化である「能楽」は現代では一部の愛好家には馴染みがあるものの、実際にご覧いただ いたことがある方は日本人の中でも割合が低い現状となっています。それには能楽に触れる機会が無かつ たという事が大きな要因と考えられます。また、ただ与えられた物を見るだけでは前のめりな鑑賞は期待で きません。 今回のワークショップでは能の小道具を自身で制作し公演の際に実際にそれを使った所作をしていただ きます。また公演で全員に参加していただく謡の稽古もしていただき、より積極的に観能につなげる企画 といたします。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>シアター形式で生徒には椅子か床に座っていただきます。 発声体験の稽古の際はその場で立つか座ったままでご参加いただけます。 何名かの生徒に前に出ていただくことも可能です。</p> <div data-bbox="453 1749 831 1989" data-label="Image"> </div> <p>【シアター形式参考画像】 参加人数によっては能楽師を囲むような配 席でも可能です。事前にご要望を伺い対応 させていただきます。</p>		



本事業への申請理由

【公演団体名

一般社団法人喜多流職分会

】

## ①本事業に対する取り組み姿勢

喜多流の歴史は1586年に誕生した喜多七太夫長能より始まり、現代にその芸が受け継がれてきています。

2019年に一般社団法人として発足した喜多流職分会はその流儀の能楽師で構成され、喜多流の芸の継承・普及として公演を重ねて参りました。

一昨年より本格的に日本全国において学生向けの公演を実施したいと文化庁子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業や体験復興事業にも参加させていただき多くの生徒の前での公演を経験いたしました。今後も一昨年、昨年の学校公演の経験を踏まえて生徒に興味を持っていただけるような内容のワークショップ・本公演を実施してまいります。

選曲した「黒塚」は、現代の学生にも理解しやすいストーリー性、能楽特有の文学性、仮面劇としての面白さなど多面的な要素を含んだ演目です。また、大道具から小道具まで能楽特有の舞台装置も使用します。これらの装置の舞台上での意味や役割を知ってもらうことにより、能楽独特の空間利用の感性に触れ、この体験以降の能楽鑑賞への大きな一歩としていただきたいと考えております。能の舞台装置は舞台横にある松や舞台上の柱をはじめ舞台上の大道具も過剰なものではなく最小限となっており、大部分はご覧になる皆様の想像力に託されます。現代インターネットやコンピュータゲームの普及で与えられる情報が多い中、自身の想像力を駆使してご覧いただく”能”はいつもとは違う体験となることと思っております。

本公演では、多くの能楽鑑賞未体験の生徒に能楽を知っていただくと共に、それ以降も積極的に能楽を楽しんでいただく一助になる事を目標にしております。

このような学生の皆様に日本古来から受け継ぐ感性をお伝えするにあたって能楽の第一線級のハイレベルな公演演出本来の形を実演し能楽に触れていただけるのに適した演目として「黒塚」を選曲しています。「黒塚」の鬼がただの悪の象徴であったかどうかのように感じられたか公演後の生徒のご感想をいただき今後の活動への貴重な実績とさせていただきます。

全国各地の公演で活躍する現役の喜多流職分会の能楽師を中心に、囃子方・ワキ方・狂言方も第一線で活躍中の能楽師を結集し実施させていただき、能楽堂での公演さながらのクオリティの高い公演を実現し、学生の皆様の感性に訴えかけられる公演にいたします。

## ②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

能楽の大きな特色の一つは、能舞台という定められた空間で舞台装置を極限まで少なくした演出で演目が行われる事です。これは能楽の発祥が中世という時代であり、装置の技術がまだあまり存在しなかった事に由来しますが、現代に至るまでその演出を踏襲しております。それは、むしろこの必要最低限の舞台装置で演者が舞う事により、鑑賞者の集中力を高め想像力を駆り立て、また能楽の重要な要素である謡の言葉が本来の力を持って美しく力強く見る側に迫ってくるからです。

今回の公演でも能楽堂と同じような舞台装置を設置し、生徒の想像力を駆り立てることを目的としております。演者の身体による空間の支配力、言葉を伝えるためのその音楽性を高める囃子方、この両面を体感していただくために学校の体育館等にて、組み立て式の能舞台を設営させていただきます。仮設能舞台の組み立て専門会社に舞台の設置を依頼し、能舞台に馴染みの少ない学生の皆様に、高度な空間利用に触れていただきます。


公演実施前には実施校の担当者様と打合せしそれぞれの学校の形態に合った実施方法をご提案させていただきます。

また、出演する能楽師は学校公演経験者で編成し、ワークショップ・本公演ともにスムーズな進行をいたします。

ワークショップで能楽師と一緒に練習した謡や制作した小道具を使用して参加型の演能にすることにより生徒の集中力が途切れることの無いように工夫しております。

本事業に対する  
取り組み姿勢、および  
効果的かつ円滑に実施  
するための工夫



リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人喜多流職分会	】
本公演演目	「能楽入門 体験しよう！見てみよう！」（本公演）			
	<p>第一部 はじまりのご挨拶をしてスタート  (1) 演者が、能の楽しみ方をレクチャー  能楽とは？能舞台について、その独特の空間の使い方や、  イメージーションを持って楽しむ観能の仕方をレクチャーします。（10分）</p>			
		<p>(2) 囃子方による囃子の演奏  大鼓・小鼓・笛・太鼓の迫力ある演奏を体感していただきます。（5分）</p> 		
<p>(3) ワークショップで体験した謡の発声のおさらいと制作した「いらたか念珠」の扱いの演習  公演の中で皆様に謡っていただく謡と所作を復習し本番に備えます。（5分）</p> <p>〈休憩10分〉</p> <p>第二部 能「黒塚」  講堂や体育館を能舞台にしつらえ  本格的な能楽を鑑賞  生徒には待謡といらたか念珠での鬼女退治のシーンでご参加いただきます。（60分）</p>				
		<p>終わりのご挨拶  礼儀を重んじる能楽の精神は日常でも大切なこと。皆様でお互いに感謝し最後のご挨拶をいたします。</p> 		



リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人喜多流職分会 】
メンバー表	<p>公演期間によりシテ方11名・ワキ方2名・狂言方2名・囃子方4名を選定</p> <p>シテ方  ◎大村定  ◎友枝雄人  ◎金子敬一郎  ◎狩野了一  ◎内田成信  ◎高林呻二  ◎粟谷充雄  ◎粟谷浩之  ◎佐々木多門  ◎大島輝久  ◎友枝真也  佐藤寛泰  佐藤陽  谷友矩  高林昌司  狩野祐一  友枝雄太郎  金子龍晟</p> <p>ワキ方  ◎宝生欣哉  御厨誠吾  大日方寛  野口能弘  野口琢弘 等</p> <p>狂言方  ◎山本泰太郎  ◎山本則孝  ◎山本則重  ◎山本則秀  山本凜太郎 等  □</p> <p>囃子方  大倉慶之助(大鼓)  亀井洋佑(大鼓)  ◎成田達志(小鼓)  成田奏(小鼓)  曾和伊喜夫(小鼓)  ◎一噌隆之(笛)  栗林祐輔(笛)  ◎小寺真佐人(太鼓)  林雄一郎(太鼓) 等</p> <p>◎は重要無形文化財総合指定認定  出演者全員が能楽協会会員であり能楽公演で活躍しているメンバーが出演</p>	